



株式会社 創泉コーポレーション 代表取締役

野頼 清 Noyori Kiyoshi

神奈川県出身。慶應義塾大学を卒業後、小田急不動産(株)に就職。小田急建設(株)、(株)小田急設計コンサルタントの各役員を務める。2006年、強羅温泉で40年以上続いていた温泉供給会社からの事業譲渡を受け、(株)創泉コーポレーションを設立した。異業種情報交換会「二木会」の代表幹事でもある。好きな言葉は「独立自尊」。

人生まだまだこれから！ 地域貢献への夢を目指す 箱根・強羅温泉の生命線

早雲山の東斜面に位置する強羅温泉。大桶谷・早雲山から引いた2種の温泉の他、3種の源泉を楽しむことから、「5色」の温泉とたとえられ、明治の頃より温泉付き別荘地として栄えてきた。その歴史ある温泉街で夢を追い掛け、人生の再スタートを切った男がいる――。

株式会社 創泉コーポレーション

免許：神奈川県知事(1)第26477号/不動産コンサルティング技能登録(3)第15707号
(社)神奈川県宅地建物取引業協会会員 / (社)全国宅地建物取引業保証協会会員

【株式会社 創泉コーポレーション】
〒250-0001 神奈川県小田原市扇町4-7-11
TEL：0465-34-5774 / FAX：0465-34-6167

【「強羅創泉苑」源泉事業所】
〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1320-1272
TEL：0460-82-3832

建設・不動産から温泉の世界へ

西崎 箱根の強羅温泉と言えば、大文字焼きが有名ですね。かつては政財界人や文人たちの別荘地として賑わい、現在も企業の別荘や保養所が数多くあるそう。歴史ある、素敵な場所だと思います。御社では温泉の供給をやっていらっしゃるようですが、代表はどのような経緯でこの仕事に携わられるようになったのですか。

野頼 私は以前、小田急グループの小田急不動産、小田急建設に勤めておりました。長年勤める中で役員も経験したのですが、55歳の時に小田急の世界しか知らないことに気づき、「もっと違う世界を見よう」と、仕事の傍ら異業種情報交換会「二木会」を開催し、今は代表幹事ですが、その立ち上げメンバーの中に、

強羅で40年間続いてきた温泉供給会社の社長がおりました。その後、交換会を通して彼らと親睦を深めていったのですが、私が退職を間近に控えた年齢になった頃、その社長が体調を崩し、私に「会社の経営を引き継いで欲しい」と打診してきたのです。

西崎 全く違う業界で生きてきた代表にですか？異業種情報交換会で知り合った仲とはいえ、建設・不動産と温泉ではあまりにも違う世界ですよね。すぐにお返事をなされたのでしょうか。

野頼 いえ。経験が無いことも理由のひとつでしたが、初めは正直、当たり外れの大きい商売だと思っていたのでお断りしたんです。現にバブル崩壊以降、有名温泉街の活気はどんどん失われていきましたからね。ただ、この先の人生を考えた時に、のんびりと引退生

活を送るより、とにかく仕事をしていたいと思ったんです。また、私に経営を任せたいと仰ってくれた社長の下には、「経営を引き継がせて欲しい」と申し出てきた会社が3社もあったそうなのですが、それでも私に任せたいと仰ってくださいました。そのお気持ちに応えるべく、事業譲渡という形で2006年5月に当社を興し、温泉供給事業を引き継いだのです。また、翌年には宅地建物取引業免許を取得し、前職の経験を活かした不動産事業の展開も始めました。

地元を大切にするのは当たり前

西崎 では、起業からもうすぐで2年目を迎えられる訳ですね。失礼ですが、代表は現在おいくつになられるのですか。

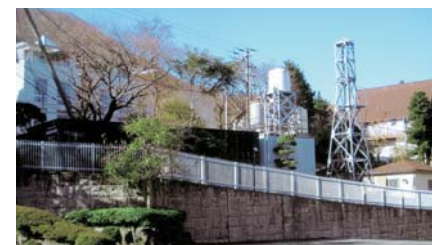


▲異業種情報交換会「二木会」100回記念大会(平成19年4月17日)前列中央 ベストセラー作家 佐藤 優 氏 後列左端 代表幹事本人 東京・日本橋で毎月第2木曜日に定例会を開催

野頼 65歳です。さすがに体力を使う仕事は難しくなりましたが、現場には元の会社のベテラン社員が出てくれるので、安心して任せられます。私は社長業に専念し、供給に不都合がないように全体を管理したり、供給先に様子を見に行ったりするのが仕事ですね。今は先行投資として、スケール防止装置の設置や供給用の配管を順次、耐久性の高いステンレス管やHT管に替えています。温泉はナトリウムやカルシウムが豊富に含まれ、40年間使われ続けてきたということで、当社が事業を引き継いだのを機に特に老朽化した配管や設備を取り替えることにしました。



▲「強羅創泉苑」源泉事業所 機械室内部 コンプレッサー スケール防止装置



▲「強羅創泉苑」源泉事業所 全景

西崎 温泉供給は、強羅温泉を支える大事な生命線。供給先の信用問題だけでなく、その供給先を利用するお客様からのイメージにも繋がりますから、届くことが当たり前であり続けなければいけないのですね。

野頼 はい。特に当社は、元の会社が築き上げてきた信用も引き継いでいるので、大きな

責任があります。立ち上げ当初から、旅館やホテル、リゾートマンション、大手企業の保養所などお客様に恵まれてきましたので、その分、期待に応えなくてはならないと常に気を引き締めているんです。

何より、強羅は私の地元ですからね。地元のお客様のため、安定供給に気を配るのも、自分の目で現場を見るのも、供給先に顔を出すのも当たり前のこと。同業他社の中には他県出身の社長が就任し、あくまでビジネス的にこの仕事をこなされる方もいらっしゃいますが、それではお客様に行き届いたサービスを提供することはできません。そういった方は、現場にもお客様のところにも顔を出さないと「社長はよく来てくれますね」と驚かれるんですよ。地球の資源を利用し商売させて頂いている訳ですから、私は単に温泉を供給するだけではなく、お客様に満足していただけるサービスを提供することが一番大切なのだと考えています。

夢を追い掛け続ける人生

西崎 今後はどのような展開をお考えですか。
野頼 まずは昨年スタートした不動産事業を軌道に乗せることですね。前職の経験を活かし、休眠していた土地や施設を温泉供給事業と組み合わせ、新しく生まれ変わらせることができれば、強羅にまたひとつ魅力ある場所を増やすことができます。強羅の地を盛り上げるお手伝いとして、土地の所有者の方々にどんどん良い企画を提案していきたいですね。

また、温泉の宅配サービスについても計画しています。温泉に行けないお爺ちゃん、お

GUEST COMMENT 西崎 みどり(女優)



観光産業は地域活性を担う大事な産業。一時は不況のあおりを受けましたが、今、その良さが見直されて温泉地にも人が戻ってきているそうですね。日本文化を象徴するひとつでもありますので、これからも強羅の地を盛り上げる緑の下の力持ちとして、地域に貢献していきましょう。御社のご活躍を期待しております。

婆ちゃんたちに、家にいながらにして温泉を楽しんでもらえるよう、タンクローリーに温泉を積んでご自宅までお届けするんです。冬になったら温泉をお歳暮として贈ったりね。面白そうですね。

ただ、これには天然資源ならではの、供給量という課題があります。数年前、温泉の不正表示問題が世間を騒がせましたが、不正をしてまで温泉を供給する訳にはいきません。当社はあくまでも供給量に余裕があったら始めたいと思っていますので、実現はもう少し先のことになりそうですね。ただ、いずれは必ず叶えますよ。

西崎 頼もしいお言葉ですね。お体が健康だからというのもあると思うのですが、代表がそこまで前向きに歩み続けられる原動力ってどこにあるのかしら。

野頼 やっぱ、この仕事自体が夢のある商売だからですね。自分が積み重ねてきた経験や知識を活かして、新たな展開を結びつけることでどんどん夢が膨らんでいくんです。人生80年と言われる時代ですから、65歳からの時間なんてまだまだあります。あくせくせずに、楽しみながら経営することが私のポリシーなんです。

西崎 素敵なお生き方だと思います。個人的にも、宅配事業にとっても興味を持ちました。実現される日を楽しみにしておりますので、これからもお体を大切に頑張ってくださいね。

